

## 「センシングとAIによる感性予測デザイン」

感性や人間行動のセンシングによる、エビデンスに基づくデザインの重要性は高まっている。現実の建物内の人の行動や心理のセンシングでは多くの場合、膨大な量の計測データが得られる。データの分析には様々な手法が用いられてきたが、近年、深層学習 (Deep Learning) という人工知能 (AI) 分野における「50年来のブレイクスルー」が広く知られるようになり、様々な分野で応用がはじまっている。深層学習は人工の神経回路 (ニューラルネットワーク) の一種であるが、データをもとに「何を表現すべきか」が自動的に獲得される点で、90年代からの「人工知能冬の時代」を越えるものとされている。当小委員会では感性予測デザインへの応用を目指し、まずは深層学習を勉強し、可能性を議論するシンポジウムを開催する。

特に若い世代の方々が建築空間・空間デザインについて考えるきっかけとなることを目的としています。様々な分野からのご参加をお待ちしております。

**日時** : 2016年11月25日 (金) 14:00 ~ 17:00

**会場** : 建築会館・本会会議室 (東京都港区芝5-26-20, 田町駅・三田駅そば)

## プログラム

総合司会：宗本晋作 (後掲)

14:00-14:10 主旨 宗本晋作 (立命館大学)

14:10-15:00 発表1 野田五十樹 (産業技術総合研究所)  
「人流・交通シミュレーションと人工知能の動向」

15:00-15:05 休憩

15:05-15:30 発表2 荻野晃大 (京都産業大学)  
「印象に適したインテリアコーディネート提案システム」

15:30-15:55 発表3 松下大輔 (岡山理科大学)  
「BLEを用いた住宅内の動線計測手法」

15:55-16:05 休憩

16:05-16:55 ディスカッション

16:55-17:00 まとめ 松下大輔 (前掲)

定員 : 40名 (申込み先着順)

参加費 : 会員2,000円, 会員外2,500円, 学生1,500円  
[資料代含む / 当日会場払い]

\*会員番号の記載がない場合は、会員外として扱わせていただきます。ご了承ください。  
\*定員に達した場合にお断りの方のみにご連絡します。

申込締切 : 2016年11月18日 (金)

申し込み問合せ : E-mailで「催し物名称、上記参加費種別および (本会会員の場合) 会員番号、氏名、勤務先、電話番号、E-mailアドレス」を明記のうえ、以下のメール先にお申し込みください。

日本建築学会事務局事業グループ 伏見 fushimi@aij.or.jp

主催 : 日本建築学会 情報システム技術委員会  
感性予測デザイン研究小委員会

